

特殊界面活性剤 ⊕ 酸性浸透剤 ⊕ 補強剤で抜群の効果!

鉄粉・水アカ・錆除去剤

「サビオフ」

SABI OFF



特長

- ◎ 鉄粉・水アカが即座に落ち、鼻につく刺激臭もありません。
- ◎ 従来の塩酸系の溶液と異なり、金属面の光沢を失うこともありません。
- ◎ 錆の生じたツールや部品を「サビオフ」に浸しておくと短時間で簡単に落とすことができます。
- ◎ 軽度のウォータースポットであれば、除去も可能です。

使用方法

金属の錆びた部分または、水アカ汚れにハケまたは柄付の柔らかブラシで塗布して下さい。
その後は放置しないで水で十分に洗い流して下さい。

注意事項

- ◎ 車のガラスには使用厳禁です。白濁して変形を帯びることがあります。
- ◎ クリヤーコートされているアルミホイールには使用しないで下さい。
- ◎ 使用後は必ず水で洗って下さい。
- ◎ 使用にあたっては、ビニールまたはゴム手袋を必ず使用して下さい。

※ ご使用前に本紙を必ずお読み下さい ※

サビオフ取扱マニュアル

【準備】

ガラス窓やメッキホイール・アルミホイールのクリア加工部分に液剤(サビオフ)がかからないように細心の注意をはらう。サビオフの液剤を扱う前にマスク・手袋(ゴム製推奨)を着用し、すぐに洗い流せるようにホース、水のたっぷり入ったバケツ・布などを準備する。

【1】作業開始

サビオフを柔らかい布に少量含ませる。

【2】試験作業

最初に目立たない部分などで必ず試験作業を行う。サビオフで水滴の残った跡の部分等をなでるように丁寧に除去する。力を入れる必要はない。1分以内に、たっぷりの水を含ませた別の布で作業箇所を洗い拭き取る。

※ サビオフを原液のまま使用して下さい。(洗車の水滴が残った状態で使用して液剤が飛散するのを防ぐ。)

※ サビオフを塗った箇所を**1分以上放置しない**こと。

【3】本番除去作業

試験作業を確認したら、水滴の残った跡を除去したい箇所の作業を【1】【2】と同じ手順でおこなう。フロントガラス、サイド、リアガラス、メッキホイール・アルミホイールのクリア加工部分に液剤が飛散してかからないようにじゅうぶん注意する。あまり広範囲の除去作業はせずに、少しずつエリアを決めて行なう。

※ サビオフを塗布した箇所は1分以内に水で洗い流すこと。

※ ガラス類には使用しない。万が一、フロントガラスなどに液剤がつき、白く曇ったりすると元には戻らないので、じゅうぶん注意すること。

【4】洗浄作業

水滴の残った跡や水アカを、除去したら1分以内にサビオフを水でよく洗い流す。またはたっぷり水を含んだ別の布を軽く絞って、その布で拭きあげる作業を数回繰り返してサビオフを除去する。ホースなどで水を直接かけて洗い流す場合も、ガラスに液剤が飛散して残ってしまわない様、じゅうぶんに洗い流す。

※ 塗装がすでにダメージを受けているクレーター状(ウォータースポット)のものは除去できない。液剤を多量に使ったり、無理に強くこすことは避ける。

【5】仕上げ作業

最後に乾いた柔らかい布、または洗車拭き取りタオルなどで水滴を拭き取り、作業完了。作業完了後はサビオフのフタをしっかりと閉めて、陽の当たらない、換気のよい湿度の少ない冷暗所に保管する。マスク・手袋をとり、しっかりと手洗いうがいをする。

【注意】

※ 自動車のタイプや、水滴の残った跡の状態によって使用量・使用回数は増減します。

※ 塗装がすでに劣化・悪化している状態やクレーター状(ウォータースポット)の除去はできません。

※ フロント、サイド、リアガラスなどのガラスには絶対に使用しないでください。

※ メッキホイール・アルミホイールのクリア加工部分へ使用しないでください。

※ 自動車の車種によってクリヤー仕上げ・ソリット仕上げと、新車塗膜、補修した塗膜によって違いがありますが色によっては、塗装面が変色したりするおそれがあります。【2】の試験作業を必ずおこなってください。

※ 車種、スイフト(チャンピオンイエロー)、ラッカー塗装車、国産車、外車のPP素材地、ゴム質素材地は、変色やシミになった事例があった為、直接原液をつけないでください。

※ サビオフは有機物系の汚れ(油汚れ、鳥のフン、虫の死骸など)を落とす液剤ではなく、あくまでも、鉄粉や水アカを落とす液剤です。

※ 車に直射日光が当たっていると、サビオフが乾いて取れなくなりますので、日陰で作業してください。